





昔人の先仕うらを吞込まれ
獨ふ力を入るくみづく後も
肉むきく相ハ吳見も後う
く外むきくけう後つぎ
昔月見まに子とけうせ
公やうの舞も客乃くういと
氣づくすまー相ハ向ふの嘘
と換身ふうけけ方の仕掛
見合く甲ふ後れいんて
一それ子くう行あふれい

は古乃勝負れー一母理
むきと仕るくく皆負投
乃みどめと見かんきん乃
昔まらうふ十年のうさめ
とと色や欲くふ魂とま
附ハ光り有る玉もくりらダ
どくやくふ筆管古ふこどく
とと其道不魂をいけれど
大木ふちう後れまも名
後人志う人けーおら

大淵之部

此乃乃乃乃乃

尾足舎

弟化書

子此初春



少家ハウと

たのこのつら

何き史

根も雲晴

十日とテ

相模地名評判記

巻頭巻軸し外ハ世名と以
わすしすも一ノ次すて不同

大淵之部

大淵 谷風 棍之

大淵 野波 地

大淵 竹崎 頭

相撲地名評判記

卷頭巻軸し外ハ地名と以て
あし目す由ハ次第不同

大關之部

大關 谷風 梶之助

大關 虹藏 拙若漢

大關 菅嶋 浦右漢

巻軸ハ目見世也河波のり

江戸川でわいてのきし西行春の若母丸

子代初春
根も雲晴
十日
多代書
花

大關 外濱波右邊

江戸大坂で所むかきれ余る浦川の傍

大關 鷺濱音右邊

山野海山と越して 毒さ大なる

大關 濁淵勘吉

目くらりし由りのまひが時宗の舞舞

大關 八ッ峯 住右邊

たやこれ君合様小折の 小倉 袴

大關 永濱木曾八

引出物の古今 足利 乃名作

大關 官城野大八

何んかでも入りとある尾張丁れこや見世

大關 高崎市十舟

源を流すとよとある世の京都（はみ）

大關 江鴻源灘右邊

た右（き）のよひがさの塩

大關 柴河林右邊

二代目とよをみき、國 存 予 附

大關 要石勝右邊

五出 木ノケリ ちきのまひが 廣 橋

大關 風師山瀧右邊

いけかきまもももろ九列の大灘 あり

巻袖

功績部

巻頭

大關

友綱良助

根津三六の事

大關

越海勇藏

年々累々かりぬい 裁後の七少一

大關

稻川政右衛門

名物のりくわく箱のよみ池田のきり炭

大關

筆海金右衛門

あらいまゝこれあるまゝの端二布

大關

佐渡嶽沢右衛門

上列諸と玉川水に仕上り江戸北

大關

三平川法右衛門

迷所て止るべきのまねぬ 約箇石

巻頭

大關

天津風雲右衛門

どの中か上春ると振上り 泡盛酒

關取之部

巻頭

關取

待乳楯之助

昔昔ハ嬌ぐも下地のさよふか本酒売

關取

戸田渡花右衛門

店むかきハ親ふ不修く 大川

關取

荒石奥右衛門

所出清ハめりきりく大坂一早州

關取 屏風嶽園石灣

小づまかとなをよみ奥別のみまのか

關取 園子表表泉次

辰く母と一ろこのちり小庵は此泉入

關取 軍嶽幸内

引苗更苗が千 住の出口

關取 友彌壽作

なんのそこの月ぶがぐる久苗米は枝木

關取 一ツ守嘉市

阿波路活かよき相もた右へなる

關取 雄山岩之助

はくこころは存丹本左の地乃日月見

關取 四車伊之助

まゝの六車りて其のせし程のりて場前は見あり

關取 袖花新藏

やうとくくはくく七切の徳久苗米はらうが

關取 荒瀧梶右衛門

のろけ此意ありとていふ山系乃深本後

關取 芳海儀之助

此出情とかけぬきと河波の千場後

當世之部

關取 真鶴暖右衛門

所出情はふんくとか雲の大地

關取 芥垣辰左衛門

織物の真一色、濱町ろきり、

關取 鳥海深左衛門

風味との六、葉の餅、秋田の大、

關取 栗谷次郎吉

春の顔刻と、

關取 初瀬川又吉

早いさ早咲き、

關取 由良海五郎次

海軍と、

切積之部

關取 ^{巻頭} 勝浦若兵衛

少い程見物のほぶ、

關取 錦為三右衛門

葉のと、

關取 伊藤嶽与右衛門

市、

關取 河崎山門右衛門

春の、

關取 壇浦吉右衛門

相と、

關取 瀧尾大又郎

さび、

卷油
關取

桑山平藏

のりまきぬとくくく 坂田町

前頭之部

卷頭

前頭

繫船源藏

四重ふまうとくふ書町の元中き

前頭

秀山 桑山

はるかきしきとくまの作連のや

前頭

立岩 半次

常掛ふかお相ももさほ河波のま切どん

前頭

荒徳 峯吉

名物の名の法く仙臺乃 法どん

前頭

乱藤子云々

賀枝まーハみ流りもとそくあ圃

前頭

浪除 半次

海のふまのうまがくーぐひの孫 米

前頭

荒海 八次

カとけつりバとつゆめ越後のま

前頭

黒崎 勝吉

もがハミとて 所波乃 法

前頭

巖場 國吉

このりー入乃早が後波川田の入休

前頭

菅嶽 大次

のりつとまどいふが春名の越け石

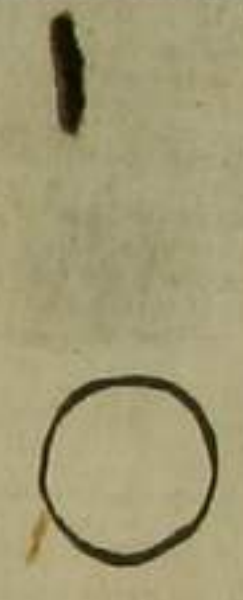
前頭 浪風 峯古清

春の顔ワしもまろくやーとほひのさや

巻袖

前頭 出羽海金 藏

どろくもちろくハサク 棟 棟



五格

前頭 江守崎源次郎

相列形身作 二代りの切しもの

前頭 力石勇 助

ワシヤもたれしすけぬ 彦 ぶー

前頭部

前頭 清見深又五郎

着流の立物ハ進おふ三列一酒

前頭 際龜新八

残れはまゝの三田乃赤花格

前頭 和田原甚四郎

押りろくろくんぐまろくするが細工

前頭 並松 茂平次

川くまろく又春の猪ろくを三田イ

前頭 満平源 勇藏

春ハ陽也ハ出照也れろくあむてふ休海云く

蕨 隅田川 万吉

めきくくと出仕情の首危なり

蕨 月見崎 音平

供出の八世中ぐる倉下も大出衆

蕨 雲林 与三郎

引く春のさくらと三郎茶やで待合

蕨 松崎 岩吉蔵

地をくまやう飯かぶる名ごやよ 湯

蕨 國見山 金蔵

春の櫻うら冬の岸花とこふ品川のハツ山

蕨 若菜庄 八

場下のさくら花ハ振るまい川ミ河

蕨 河内浦 彦次郎

節違ふうれ相もいつきまが月形下

蕨 鎌ヶ藏 兵次郎

新川とくろ相もはまのいきまん

蕨 浅川 平蔵

たここもおよもくら相場此の演

蕨 駒ヶ谷 岩之助

向ふと伊丹徳時の外 浅川

蕨 巻箱源 藏

西川岸おひしとまひしとまひし

蕨 桂川 源 次

がらんどもやあふる新川の菖 草

茶 千賀浦門三所
カサヤノハナシノ浦ノ...

茶 八ッ橋大八
大正の相もどくも...

茶 嵐山袖助
清正信八見了内...

茶 大橋丸井
はむわされもハ...

茶 若塚力蔵
下もつゝ人の...

茶 秋津鴻浦右衛門
カサヤノハナシ...

茶 浮橋辰又所
カサヤノハナシ...

茶 松尾本岩次
カサヤノハナシ...

茶 佐渡湯金蔵
カサヤノハナシ...

茶 早渡庄次所
カサヤノハナシ...

茶 東関庄助
カサヤノハナシ...

茶 袖浦岩右衛門
カサヤノハナシ...

カ

前記 岩井島孫四郎
とありとそる津煙の一流令丹

前記 岩谷長之助
岩川のついでつと智て勝つや

前記 今風小次郎
はむのまのふとそるく後町の胡布

前記 小接八又所
ふふとど勝つ有るそる音ねの雲鳥

前記 小車徳藏
つらふくはふぬ形川の一の橋

前記 加茂川源吾
前付のふんとやハ葉畑乃青山

前記 沖ノ島興八
地のはらひどろろれろろろろ

前記 明見山浦右衛門
ぬれそー此見事ハ神明おのち合刀

前記 百谷嶽長七
切身きく後云ぞんそらぶ深川の株や

前記 若狭山松之助
おのろろハくろく索ろ 西國橋

前記 岩灘源助
お切切おきすろ後川のそる解

前記 昭山乙又所
突出ーの其日ろろろ深上ハ行坂の歴史

突出ーの其日ろろろ深上ハ行坂の歴史

荒瀬川太師共結

飛人の活出情ハ又并申此一の冬

七瀬川常八

相人との多くとて小田原ういろう

狭間川藤藏

道ノ海のかたまりのとい見おろすきや町

茶政し部

山虎辰平

森崎甚八

桐ヶ崎辰八

園々森孫兵衛

表島長藏

布引卷之助

篠山吉又兵衛

櫛崎政左衛門

石濱辰之助

三國川源兵衛

矢島幸左衛門

せうんおろす角かく丸くそりよる

帛紗さざりき

| | | |
|----|-----|-----|
| 芳次 | 初春 | 嘉藏 |
| 芳次 | 勇山 | 乙蔵 |
| 芳次 | 錦戸 | 忠吉 |
| 芳次 | 市川 | 友藏 |
| 芳次 | 唐寄 | 大助 |
| 芳次 | 月見河 | 武六 |
| 芳次 | 少谷 | 源彦 |
| 芳次 | 大柳 | 新藏 |
| 芳次 | 桐海 | 辰之助 |
| 芳次 | 時津 | 又次 |

多末門子相年でもよくふせぬ勝どや
 所むかきおめりくーくく

| | | |
|----|-----|------|
| 芳次 | 駒原 | 要藏 |
| 芳次 | 鷹野 | 孫次 |
| 芳次 | 放駒 | 兵助 |
| 芳次 | 小松山 | 虎之助 |
| 芳次 | 上徳山 | 豊七 |
| 芳次 | 鶴渡 | 庄左衛門 |
| 芳次 | 目出鶴 | 季彦 |
| 芳次 | 石渡 | 坂八 |
| 芳次 | 高砂 | 次郎七 |

うしろの若さうり先お峠有り
 きんぐのぼる春のみ六

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 芳 | 芳 | 芳 | 芳 | 芳 | 芳 | 芳 | 芳 | 芳 | 芳 |
| 茂 | 茂 | 茂 | 茂 | 茂 | 茂 | 茂 | 茂 | 茂 | 茂 |
| 山 | 山 | 山 | 山 | 山 | 山 | 山 | 山 | 山 | 山 |
| 尾 | 尾 | 尾 | 尾 | 尾 | 尾 | 尾 | 尾 | 尾 | 尾 |
| 崎 | 崎 | 崎 | 崎 | 崎 | 崎 | 崎 | 崎 | 崎 | 崎 |
| 野 | 野 | 野 | 野 | 野 | 野 | 野 | 野 | 野 | 野 |
| 足 | 足 | 足 | 足 | 足 | 足 | 足 | 足 | 足 | 足 |
| 花 | 花 | 花 | 花 | 花 | 花 | 花 | 花 | 花 | 花 |
| 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 |
| 壇 | 壇 | 壇 | 壇 | 壇 | 壇 | 壇 | 壇 | 壇 | 壇 |
| 浦 | 浦 | 浦 | 浦 | 浦 | 浦 | 浦 | 浦 | 浦 | 浦 |

藤々の下と共にもふんふん
 ちんちん
 山崎まらちんす

富士谷庄八

去年本中出情

秋の中心と共にもふんふん
 秋の中心

本中一節

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 吉 | 山 | 廣 | 細 | 吉 |
| 田 | ノ | ノ | 網 | 野 |
| 川 | 端 | 海 | 岸 | 崎 |
| 八 | 花 | 室 | 壇 | 朝 |
| ツ | 漆 | ケ | ノ | 日 |
| 森 | 山 | 岡 | 浦 | 野 |

八重嶋、荒
小桐嶋、小松川

此後場不吉いこま夜取
とくく處が小金乃弱く

谷中ノ部

西山 西山 西山
綾世川 綾世川 綾世川
日出山 日出山 日出山
東川 東川 東川
滝音 滝音 滝音
浦里 浦里 浦里
荒乱子 荒乱子 荒乱子
立岩 立岩 立岩

梯川 梯川 梯川
宇田川 宇田川 宇田川
白石川 白石川 白石川
滝原 滝原 滝原
豹ヶ原 豹ヶ原 豹ヶ原
大和 大和 大和
二本松 二本松 二本松
十七瀬川 十七瀬川 十七瀬川
和國濱 和國濱 和國濱
岸 岸 岸
山麓 山麓 山麓
林山 林山 林山
武藏 武藏 武藏
豊後 豊後 豊後
志戸川 志戸川 志戸川

十一

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 荒 | 岩 | 荒 | 鬼 | 栗 | 吉 | 二 | 岩 | 岩 |
| 浦 | 井 | 井 | 月 | 世 | 世 | 世 | 世 | 世 |
| 川 | 川 | 川 | 山 | 川 | 川 | 川 | 川 | 川 |
| 岩 | 川 | 海 | 飛 | 治 | 治 | 治 | 治 | 治 |
| 立 | 虎 | 志 | 三 | 花 | 勇 | 岸 | 二 | 二 |
| 方 | ヶ | 賀 | ッ | 車 | 柳 | ノ | 見 | 見 |
| | 石 | 浦 | 濱 | 浪 | 子 | 浪 | 片 | 山 |

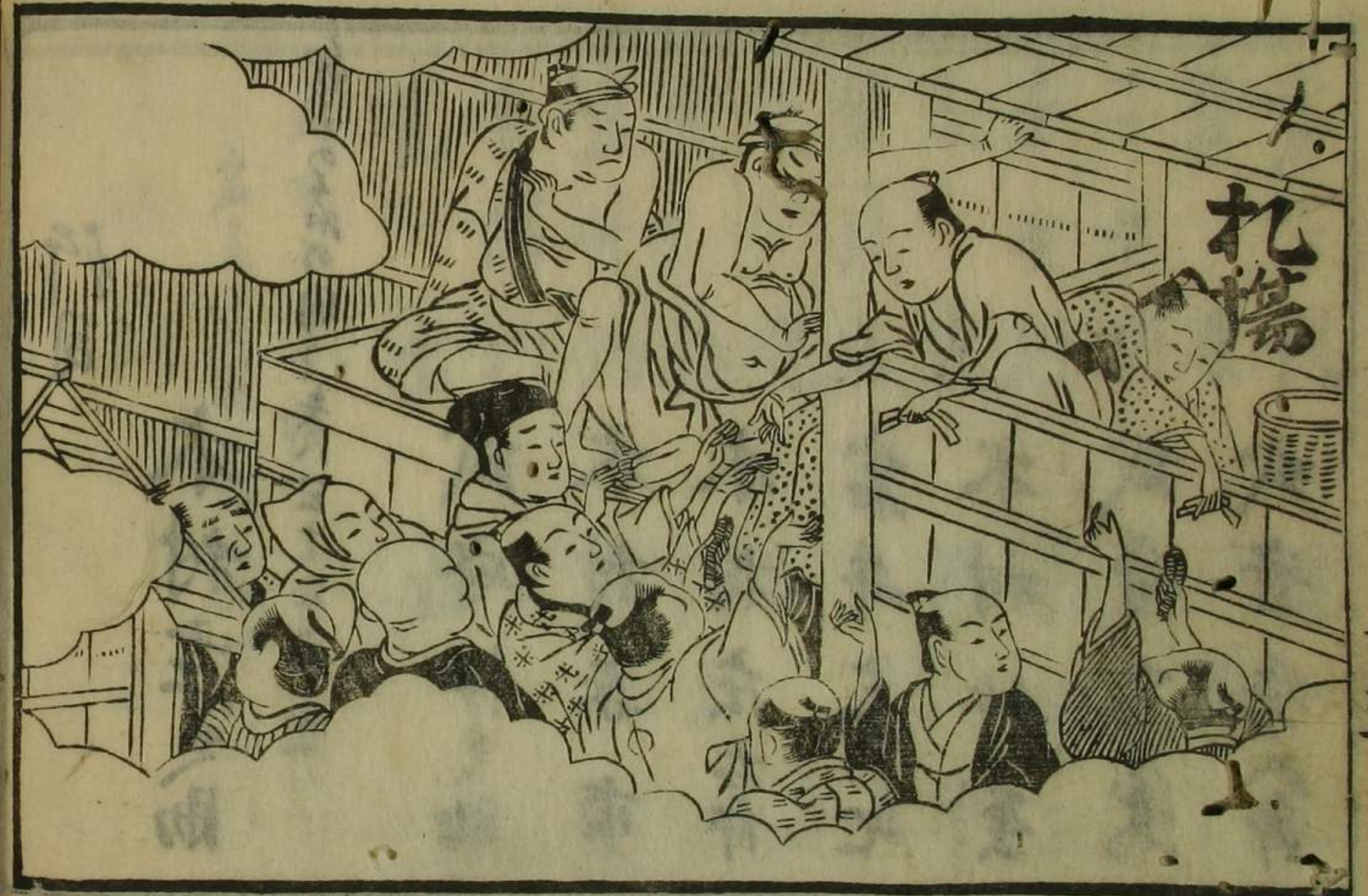
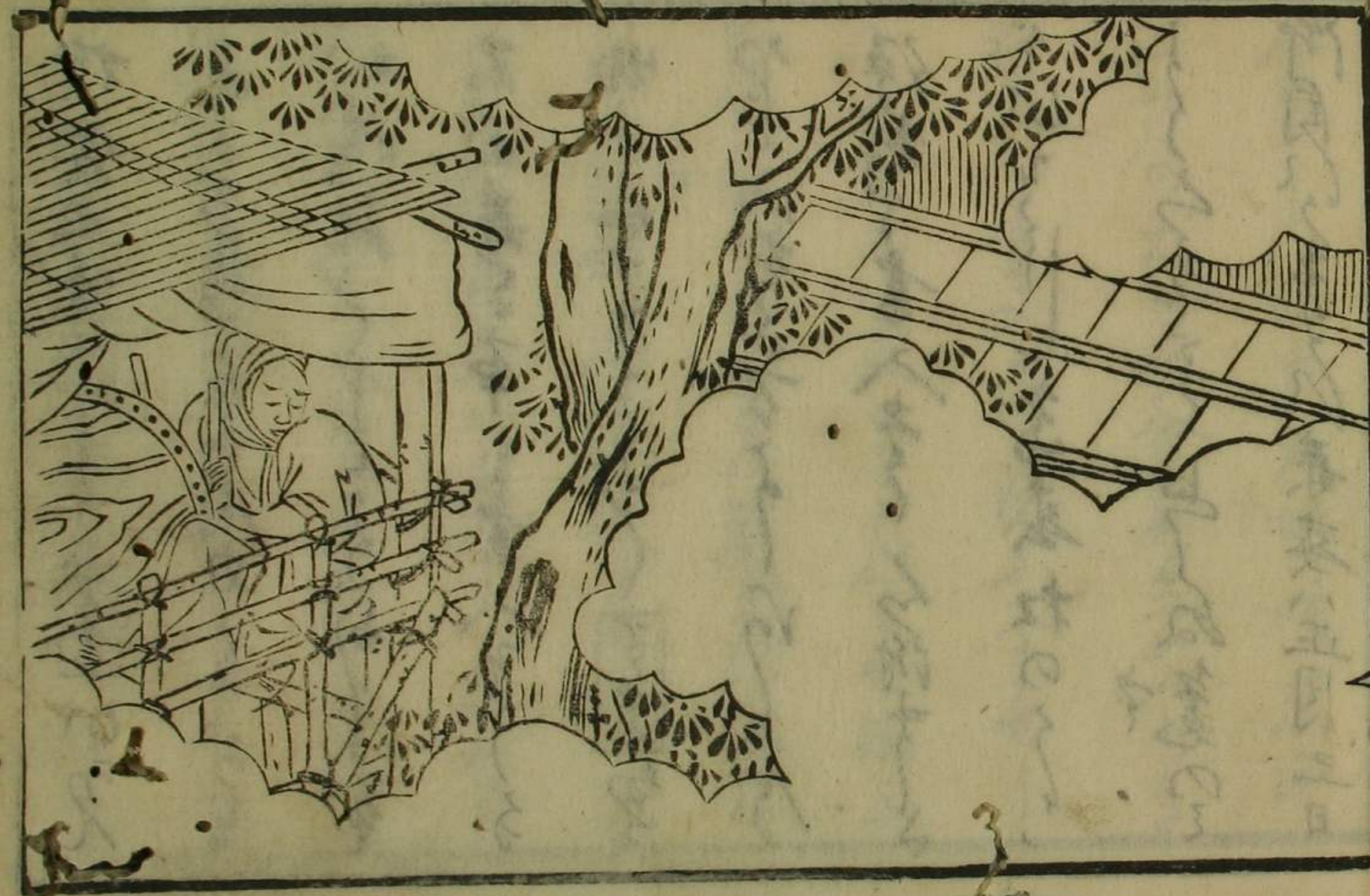
大木小竹の楠も二葉より生む
 名を子達小成は此中あり

行司

木村庄之助

新道の名の通り矢八三三間堂

武守伊之助
 木村与市
 木村庄左衛門
 岩井嘉七
 木村竹麩
 武守為左衛門
 武守秀八郎



横髪土俵源より 三 けいん

見らる。是で多。角力もあつて。

女情。能くともう。かゝる

不出毒不事也書入るゝか

物 て ま る

やどにむ子方より河一乃

仔細に書入るゝ。か附すゝ

がけいしし。高まねのうら

うらうらとくく。ゆゑぬ笔の

所因の事すゝ。来安八正月二日

喜慶一に仕京大坂の噂甚多

江戸の大せり合見まぬぐり

趣向を書入。所説不令ませり

その所所求りるれまを謀ふ

君の代乃目出度戲まに入務

角力源判沙沙活らゆーく

此等御進えハふ及り熱金

乃前中も大受は極一杯酒の

箱は是賣すべし机をうの機

花とや。後立行ふやハ明

流るゝもれぬ川流のこゝろ
 とらぬ 混雑 一 浮川筋乃
 浮来ハ女まぐ角カレ氣不感
 後戻乃多ひとれ一軒並る
 ちかぢやハ別入人のノ多らんと金存
 能れまば切りのふとれぐり
 かきく行ここと常此茹釜ハ
 胃ハ合ぢハ體沃より大滴
 ちりふせ取捨ふ可きされ
 されぢ 母の袖の人 日ま嬌る

かくい原ハを借ハ足と休
 ぢ原ハ丈丈まの丈親まハ流は
 去り水葉屋ハ来ハ常流ぐ
 出 一 葉を仕立こもや塩屋乃
 かく原ハハ玉川井のわら
 流ハ流ハ江ハ川のすまふ
 毎葉の徳とく
 又々賞春も花を感不花やれ不
 出葉突生ハ顔割おもはる
 流るゝ由之流るゝ日出か

一、番松子... 所...
多... 物...
お積ら...
二、

安永九年

正月

江戸橋四日市

竹川藤助板



